



平成 30 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社アジアゲートホールディングス
代表者名 代表取締役社長 金井 壮
(コード：1783 ジャスダック)
問合せ先 管 理 本 部 長 平山 滋樹
(TEL 03-5572-7848)

当社連結子会社における債権放棄等に関するお知らせ

本日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である合同会社箱根山松苑（以下「箱根山松苑」といいます。）が保有している貸付債権等（以下「本債権」といいます。）について債権放棄することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本債権及び債務者の概要

当社は平成 26 年 2 月に箱根山松苑の債権及び社員持分を取得し子会社化いたしました。本債権は箱根山松苑を子会社化する時点において本債権の債務者（以下「本債務者」といいます。）の運転資金としてすでに箱根山松苑が貸し付けていたもので、その一部が未返済となっております。

本債務者は、手形の不渡りや破産手続開始申立等には至っておらず、本債務者の事業継続への影響を考慮し名称等は伏させていただきます。なお、当社と本債務者との間には資本・人的関係はなく、関連当事者にも該当しておりません。

2. 取立不能が生じた経緯

平成 30 年 5 月 31 日付「連結子会社による販売用不動産の売却に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、箱根山松苑は所有する販売用不動産を売却いたしました。

当社グループは、箱根山松苑を通じて宿泊施設をはじめとする高品質の不動産の所有と運営を行うプロジェクトを進めておりましたが、上記販売用不動産の売却益（粗利 508 百万円を見込んでおります。）が同プロジェクトにおいて当初計画していた利益の額を超えるものであったことから、今般、当該プロジェクトをすべて終了することといたしました。当社は、当該プロジェクトを継続して事業基盤の再構築を進める本債務者からの本債権の早期回収に努めるよりも、経営資源を他に振り分け、積極的に事業機会を創出するほうが、より企業価値を高めることになると考え、また同社が保有する本債権が回収されなくともプロジェクト全体で十分に採算が取れると判断し、本債権を放棄することといたしました。

なお、本債権全額に対して貸倒損失 206 百万円を計上する予定です。

3. 本債権の種類および金額

本債権の種類	金額	連結純資産に対する割合
長期貸付金・長期未収入金	206 百万円	2.7%

4. 今後の見通し

上記貸倒損失について特別損失を計上する予定ですが、現在、上記販売用不動産の売却による平成 30 年 9 月期の通期連結業績への影響を精査中であり、業績の予想につきましては、数字の集計が整い次第お知らせいたします。

以上